

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)神戸市新長田駅南プロジェクト**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.3</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.40</b>		-	<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>						<b>2.6</b>	0.15	<b>3.5</b>	1.00	<b>3.0</b>
1.1 室内騒音レベル		住居・宿泊部分: 40dBA(目標値)				<b>1.0</b>	0.45	<b>4.0</b>	0.45	
1.2 遮音						<b>4.5</b>	0.45	<b>3.6</b>	0.45	
1 開口部遮音性能		遮音性能の高い開口。				<b>5.0</b>	0.68	<b>4.6</b>	0.30	
2 界壁遮音性能		遮音性能に配慮した界壁。				<b>3.5</b>	0.32	<b>2.8</b>	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		遮音性能に配慮した界床。				-	-	<b>3.5</b>	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		遮音性能に配慮した界床。				-	-	<b>3.6</b>	0.20	
1.3 吸音						<b>2.0</b>	0.11	<b>1.0</b>	0.11	
<b>2 温熱環境</b>						<b>2.4</b>	0.35	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.5</b>
2.1 室温制御						<b>3.2</b>	0.50	<b>3.4</b>	0.50	
1 室温		断熱性能の高い建材の採用				<b>2.6</b>	0.49	<b>3.0</b>	0.60	
2 外皮性能						<b>4.5</b>	0.31	<b>4.1</b>	0.40	
3 ゾーン別制御性						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.2 湿度制御						<b>2.6</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20	
2.3 空調方式						<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.30	
<b>3 光・視環境</b>						<b>2.7</b>	0.25	<b>3.9</b>	1.00	<b>3.3</b>
3.1 昼光利用						<b>2.7</b>	0.30	<b>3.6</b>	0.30	
1 昼光率		室、開口形状による高い昼光率の確保。				<b>2.6</b>	0.60	<b>4.1</b>	0.55	
2 方位別開口						-	-	<b>3.0</b>	0.14	
3 昼光利用設備						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.31	
3.2 グレア対策						<b>2.4</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30	
1 昼光制御		庇等によるグレア制御。				<b>2.4</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
3.3 照度						<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
3.4 照明制御		照明器具等による照明制御。				<b>3.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25	
<b>4 空気質環境</b>						<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.6</b>
4.1 発生源対策						<b>4.0</b>	0.55	<b>4.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		ほぼ全面的にF☆☆☆☆又は規制対象外の材料を採用。				<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
4.2 換気						<b>2.6</b>	0.35	<b>3.0</b>	0.38	
1 換気量		十分な換気量の確保。				<b>3.4</b>	0.50	<b>3.4</b>	0.50	
2 自然換気性能						-	-	<b>2.6</b>	0.50	
3 取り入れ外気への配慮						<b>1.8</b>	0.50	-	-	
4.3 運用管理						<b>5.0</b>	0.11	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御		非喫煙者が煙に曝されないような対策が十分である。				<b>5.0</b>	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>						-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>						<b>2.4</b>	0.40	<b>3.9</b>	1.00	<b>3.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>1.4</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性		住居・宿泊部分: 1床に対する十分な面積の確保。				-	-	<b>5.0</b>	0.54	
2 高度情報通信設備対応		住居・宿泊部分: Gbitクラスのブロードバンド環境。				-	-	<b>5.0</b>	0.46	
3 バリアフリー計画						<b>1.4</b>	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						<b>3.0</b>	0.30	<b>2.3</b>	0.40	
1 広さ感・景観		住居・宿泊部分: 十分な天井高の確保。				-	-	<b>3.2</b>	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						<b>3.0</b>	1.00	<b>1.4</b>	0.50	
1.3 維持管理						<b>3.3</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い内装仕上、外部露出金属への防錆対策等。				<b>3.8</b>	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						<b>2.8</b>	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>3.3</b>	0.30	-	-	<b>3.3</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						<b>3.0</b>	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>3.8</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		劣化等級3				<b>5.0</b>	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						<b>2.0</b>	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数の長い内装仕上げ材の採用。				<b>4.6</b>	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		ガルバリウム鋼板製のダクトによる長寿命性への配慮。				<b>3.8</b>	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		耐用年数の長い配管材の採用。				<b>5.0</b>	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						<b>2.8</b>	0.20	-	-	
2.4 信頼性						<b>3.5</b>	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		熱源種の分散化等による信頼性向上。				<b>4.6</b>	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
3 電気設備						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		通信手段の多様化等による信頼性向上。				<b>4.0</b>	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>2.8</b>	0.30	<b>3.1</b>	1.00	<b>2.9</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>3.4</b>	0.16	<b>3.2</b>	0.50	
1	階高のゆとり	ゆとりのある階高による将来の用途変更可能性への配慮。	3.0	0.60	3.8	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率を抑え、将来の用途変更可能性に配慮。	4.0	0.40	2.4	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.16	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>2.6</b>	0.68	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		1.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕可能。	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		1.4	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.8</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		生物環境の保全と創出に配慮した計画	<b>4.0</b>	0.30	-	-	<b>4.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		周辺建物との調和や植栽による良好な景観形成。	<b>4.0</b>	0.40	-	-	<b>4.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.5</b>	0.30	-	-	<b>3.5</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>		敷地内、外壁、屋上の緑化により、敷地内の暑熱環境を緩和。	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.4</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		断熱性能の高い建材の採用。	<b>4.5</b>	0.20	-	-	<b>4.5</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] : -	<b>3.4</b>	0.50	-	-	<b>3.4</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.2</b>	0.20	-	-	<b>3.2</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.5</b>	0.54	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	年間エネルギー消費量の目標値の設定等	4.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			<b>3.0</b>	0.46	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.6</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
<b>1.1 節水</b>		節水コマや省水型機器の採用。	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.6</b>	0.60	-	-	<b>3.6</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			3.0	0.10	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		床:磁器質タイル、ビニル床材、デッキ等	4.8	0.20	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			2.2	0.10	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		軽量鉄骨の乾式壁工法や再利用できるユニット部材の採用。	4.8	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	<b>3.7</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>		PRTR法に該当する有害物質を含まない材料の採用。	<b>4.2</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.5</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	GWP値の低い断熱材の採用。	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.7</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	緑地による自主的な雨水流出抑制対策の実施。	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な駐輪場、駐車場の計画。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	